

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年10月11日(火)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年10月11日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【モニタリングポストMP-2建屋内エアコンの故障について】 当社社員が、モニタリングポストMP-2建屋内温度高の警報発生を確認。 現場を確認したところ、建屋内温度が警報設定値の35度であることを確認。 建屋内エアコンは停止状態であり、再起動を試みたが風量が出ないことを確認したことから、エアコンの故障と判断。 このため、換気扇を起動するとともに建屋外壁に打ち水を行い、室内の温度を下げた。 現在は、外気温度が高くなく建屋内温度が35度を超えていないことから、線量測定に影響は出ていない。 今後、エアコンを修理予定。</p>	GⅢ	10月4日
2	<p>【重機走行用養生敷鉄板の敷き込み作業時における協力企業作業員の負傷について】 協力企業作業員が重機走行用の養生鉄板敷き込み作業において、鉄板の隙間に落ちている鉄屑を右手で取り除こうとしたところ、他の作業員が鉄板のすき間をなくすために鉄板を動かした際に、動いた鉄板に挟まれ右手を負傷。 その際、出血や痛みが無かったことから、継続して作業に従事。 念のため、後日、医療機関を受診したところ、診断結果は右母指骨折・右第三指亀裂骨折・右手挫傷であった。 なお、不慮災害となっている。 今後、再発防止対策を検討。</p>	GⅢ	10月5日